

旧池田氏庭園 一般公開に関するお問い合わせについて

Q. 「なぜ通年で一般公開しないのですか？」

庭園内では年次計画による建造物の修復工事や修理作業が行われているために、作業の安全管理の面から常時公開することが困難となっております。冬季についても1mを超える積雪があり、庭園内の見学が困難です。こうした事情から、期間を定めた一般公開の際にお越し頂ければと思います。

Q. 「なぜ洋館は1階のみの公開なのですか？」

洋館は大正11年に竣工された秋田県で初の鉄筋コンクリート造とされる建造物であり、平成20年度に躯体補強工事を実施し保存に努めています。ですが、洋館2階へと通じる階段室については非常に緻密な木組み建築となっており、補強工事の際に解体・補強を行うことができず、竣工当時の強度のままとなっています。

年間数万人が訪れる一般公開で洋館2階を公開すると、残念ながら階段室の強度不足により破損、事故等のおそれがあるため、階段室を含む2階の公開を控えております。

Q. 「どうしても洋館の2階を見たいのですが・・・」

年間数回実施される旧池田氏庭園一般公開に先立ち、公開期間開始日の前日に「洋館特別公開」を開催しています。こちらにご参加頂く事で2階を見学することが可能です。

事前に申し込みが必要ですが、市広報やホームページ等でお知らせしますのでお申込み下さい。

Q. 「紅葉の見ごろはいつごろですか？」

例年ですと、払田分家庭園の見ごろは11月上旬の文化の日前後、本家庭園の見ごろはそれより1週間程度遅れた11月中旬頃となります。

時期や気温等でも変動しますので、大仙市観光情報センター「グランポール」(JR大曲駅内、0187-86-0888)へお問い合わせ頂くか、大仙市観光物産センター・大仙市のホームページ等でご確認ください。

(参考) 庭園内の植物の見ごろ、咲きごろ

5月下旬 リュウキュウツツジ

6月上旬 カキツバタ

10月中旬から下旬 クリ ケヤキ ナラ クルミ イチョウ カキ

11月上旬 モミジ

Q. 「庭園の見学所要時間はどれぐらいですか？」

自由散策ですと約30分、ガイドの案内つきですと40~50分、ゆっくりご観覧頂くと1時間ほどです。

Q. 「案内ガイドについて教えてください」

一般の個人、団体向けの庭園ボランティアガイド(無料)があります。公開期間中は毎日定時にご案内をしています。個人の方のガイド利用は予約不要ですが、団体の場合は事前に申し込みが必要となります。案内ガイドご希望の場合は大仙市文化財保護課(0187-63-8972)へお申込みください。

(注意！) 観光バスツアー等をご利用のお客さまへ(旅行会社の方へ)

観光ツアー商品(エージェンツツアー等)をご利用の方は、「大仙市観光マイスター」がご案内いたします。事前に申し込みが必要ですが、申込先が観光物産協会となりますのでご注意ください。

観光ツアーガイドの申込先・・・大仙市観光物産協会(0187-88-8481)

Q. 「お休みはありますか？」

一般公開の期間中であれば、無休で公開しています。ですが、悪天候や天災その他の理由により休園せざるを得ない場合は臨時休園となる場合があります。

Q. 「庭園内や庭園付近に食事をする場所がありますか？」

庭園内には飲食物を提供する施設はありません。庭園付近（国道13号バイパスが近いです）の飲食店をご利用ください。園内にお弁当を持ち込んで召し上がる場合は、少人数であれば洋館横の広場にある六角テーブルとベンチをご利用ください。（園内での敷物のご利用はご遠慮願います。）

また、有料でのご提供となりますが、園内の多目的交流施設「穆如亭（ぼくじょてい）」内の研修室もお使い頂けます。詳しくは大仙市文化財保護課（0187-63-8972）までお問い合わせください。

Q. 「園内で車いすは使えますか？」

庭園は国指定の文化財庭園となっており、バリアフリー化はされておりません。このため、車いす利用者の見学については、車いす専用通路をお使い頂くことで雪見灯籠付近までの見学が可能ですが、全園路の見学はできません。受付にレンタル用の車いす（3台、予約は不可）もありますのでご利用ください。

Q. 「庭園の見どころを教えてください」

本家庭園の見どころは国内最大級の大型雪見灯籠が設置された日本庭園と、大正浪漫が漂う白亜の洋館です。一方弘田分家庭園は木立の丘陵を借景とした市中山居の風情がみどころです。どちらの庭園も近代庭園の祖と言われる造園家・長岡安平による築庭であり、地割りや景物配置など共通点も多く見られる一方で、石の使い方や水の流れにおいては全く異なる風情を味わうことができます。

例えば、本家庭園では大きめの川石が用いられ、明るく開放的な庭園が形成されているのに対して、弘田分家庭園では山石が使われ、深山幽谷を思わせる静かな佇まいを表しています。二つの庭園の比較観賞が隠れた楽しみかたかもしれません。

Q. 「入園料の割引制度はありますか？」

現在のところ、入園料の割引サービスやシーズン券等はありません。高校生以下は無料となっております。（生涯学習や公民館、公益的な利用の際は文化財保護課へお問い合わせください）

Q. 「コインロッカーはありますか？」

コインロッカーはありません。貴重品以外のお荷物については、受付施設でお預かりします。

Q. 「おみやげ等の販売はありますか？」

受付施設にて洋館の金唐草紙しおりや絵はがきなど、普及広報のためのグッズ販売をしております。

地元特産品等の販売については大仙市観光情報センター「グランポール」（0187-86-0888）へお問い合わせください。

Q. 「園内にはどのような花が咲きますか？」

本家庭園、弘田分家庭園共にツツジが5月下旬に見ごろを迎えます。また、本家庭園のカキツバタは6月上旬から中旬にかけて見ごろとなります。そのほかにも本家庭園ではキショウブが、弘田分家庭園ではコウホネが5月下旬頃に花を咲かせます。

Q. 「本家庭園の場所はどのあたりですか？」

秋田新幹線大曲駅から車で約10分、東方面へ4kmの所にあります。国道13号バイパスから東へ1km、大仙市仙北庁舎からも約1kmとなっております。カーナビ検索用電話番号は「0187-62-6257（受付施設）」です。一般公開の期間中は主要道路、交差点に案内看板を設置しています。

Q. 「一般公開期間の駐車場はどこですか？」

本家庭園正門前に約20台の駐車スペースとバス昇降レーンがあります。大型バスは乗客の昇降を除いて公開期間中のみ設置される臨時駐車場（仙北南保育園駐車場）に駐車してください。歩いて3分程の距離にあります。駐車料金は無料です。

秋の紅葉シーズンは本家庭園、払田分家庭園共に大変混雑します。特に、午前11時頃と午後1時30分頃が混雑のピークとなりますので、来園時間をずらす等の工夫をおすすめします。

Q. 「旧池田氏庭園とはどのような施設なのですか？」

旧池田氏庭園とは、近代において山形酒田の本間氏、宮城石巻の齋藤氏と並び、東北三大地主と称された池田氏の邸宅敷地跡です。また、払田分家庭園とは明治末期に本家から分家した池田禮治氏の邸宅敷地跡です。払田（ほった）は庭園が位置する場所の名前です。

面積は本家庭園が約4万2千㎡、払田分家庭園が約1万8千㎡、合わせて6万㎡と広大です。

庭園の設計は、近代庭園の祖、近代公園の先駆者と称されている造園家・長岡安平によるもので、明治末期から大正初期にかけて築庭されました。鑑賞的、学術的に高い評価をいただき、本家庭園は秋田県では初の国指定名勝となりました。払田分家庭園も平成20年に追加指定を受けています。

Q. 「旧池田氏庭園の周辺に、観光施設はありますか？」

払田分家庭園の近くに、国指定史跡の「払田柵跡（ほったのさくあと）」があります。

払田柵跡は平安時代に律令国家が築いた役所の跡で、行政や軍事、儀式等を司ったとされていますが詳しくはまだ分かっておらず、謎の遺跡とされています。昭和6年に秋田県で初の国指定史跡となりましたが、これに要した発掘調査へも池田家が支援をしています。

また、払田柵跡から東へ約5kmの所に、近代農村づくりの先駆者とされた坂本理一郎氏の旧邸宅である「坂本東嶽邸」があります。東嶽は池田家13代池田文一郎の漢詩の友であり、共に農村づくりに尽力した盟友でもあります。東嶽とは理一郎の雅号です。

Q. 「庭園内での写真撮影、動画撮影はいいのですか？」

基本的には、記念写真など個人が非営利で利用する範囲では撮影が可能です。また、個人のホームページやブログ、各種SNSサイトへの掲載についても非営利であることが条件となります。

撮影に関してのお願いですが、見学者の支障となる事、園内の植生保護のため等の理由により、三脚及び一脚の使用を禁止します。ご理解とご協力をお願いします。

書籍や印刷物、テレビ放送、映像媒体への記録に用いるための撮影については事前に文化財保護課への申請をお願いいたします。公共性が高く文化財保護・文化財指定の観点から普及啓発に資すると思われる場合に限り許可しております。撮影業者の方も同様ですので、一度お問い合わせください。

おみやげ品やお菓子、写真集等の特定営利商品への画像の使用はお断りさせて頂いております。

また、会員制動画配信サイト等個人が撮影した画像や動画で対価を得ることを目的とした場合についても、撮影をお断りしております。視聴者を特定した会員制有料放送、記録媒体の頒布等も同様です。

上記のような場合で撮影の可否がはっきりしない場合は、お手数をおかけいたしますが文化財保護課（0187-63-8972）へお問い合わせください。